

募集作品と応募要領

募集作品と応募資格など

1. 他の公募展に出品した作品を除く。
2. 道内居住者に限る。
3. 出展料は無料です。

※絵画※ 油絵、日本画、水彩、版画の何れも良いが額縁に入れること。ただし、100号以下、原則として1人2点以内とし、表具を必要とする物は除く。

※彫塑※ 等身大以下とする。ただし1人2点以内。
※書※ 裱装又は額装とし、全紙判以内とする。(タテ、ヨコ自由)ただし、1人2点以内。

※写真※ キャビネ以上、Y四ツ切、四ツ切以内とする。題材は自由。1人3点以内。組写真は1組4枚以内を1点とする。この場合、編集しそのまま展示できるもの。

※陶芸※ 1人2点以内。
※手工芸※ 人形(ケースに入れないこと)・彫金・押絵・染色・織物・革・木工細工・パッチワーク・その他創作性のあるすべての作品、ただし1人2点以内。

※イラスト※ 1人2点以内。

※詩、短歌、俳句、川柳※
詩は20行以内とする。(厳守のこと)
短歌、俳句、川柳は1人3首、3句とし、色紙または短冊に毛筆書きとする。(楷書の原稿を同封のこと)

※生花、盆景、魚拓※
1人1点とし、生花、盆景は開催の前日、午後会場受付とする。(出品される方はプログラム掲載の都合上、6月19日～21日までに実行委員会へご連絡下さい。)

作品受付日時と場所

6月19日(土) 午後1時から午後5時
20日(日) 午前9時30分～午後5時
21日(月) 午前9時30分～午後1時まで
札幌中央区北4条西12丁目 ほくろうビル5F
全道勤労者総合文化祭実行委員会宛

申込票及び出品票

申込票は受付時に提出してください。地方の方は受付日時までに郵送してください。(プログラム・出品名簿作成に必要です。)

出品票は作品の裏に貼付してください。
数品出品の場合はコピーのうえご使用ください。

表彰及び賞

この催しの本来的意味は、広く作品の参加を求めることにあるので、賞は二義的なものです。しかし指標となるような優秀作品については、奨励の意味をこめた奨励賞並びに特別賞を選び、表彰します。

なお、過去3回以上受賞した方は奨励賞の対象となりませんが「賛助出品」として展示の際に3回以上受賞者であることを明らかにします。特別賞は全作品が対象となります。

★また優れた作品6点を労働金庫カレンダーに掲載します。

審査委員

山下 脩馬(画家)・中野 北溟(書道家)・木村 敏男(俳人)
武藤 省吾(写真家)・米坂ヒデノリ(彫刻家)・劔持 小枝(人形作家)
中村 裕(陶芸家)・矢口 以文(詩人)このほか実行委員会から参加。

▼6月29日(火) 15時 ————— 審査会
▼6月30日(水) 10時 ————— テープカット
▼7月4日(日) 15時～16時 ——— 表彰式並びに講評

主催 / 全道勤労者総合文化祭実行委員会

札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル3F(労文協内) ☎011(261)0020

申込票

(・出品名簿作成に必要です。受付の時に提出して下さい。
・不足の場合はコピーしてお使い下さい。)

出品者氏名	フリガナ 電話
自宅住所	〒
職業名 または 団体名	
ジャンル	
題名	
作品の大きさ	
備考	
作品返却 (○をつけて ください)	1 最終日午後4時20分に会場へ取りにくる。 2 返送希望

出品票

(・作品の裏に貼付して下さい。
・不足の場合はコピーしてお使い下さい。)

出品者氏名	フリガナ 電話
自宅住所	〒
職業名 または 団体名	
ジャンル	
題名	
作品の大きさ	
備考	
作品返却 (○をつけて ください)	1 最終日午後4時20分に会場へ取りにくる。 2 返送希望

※団体名とは……サークル、……退職の会、……家族会など。また何れでもない方は空欄で結構です。
※公募展の会員・会友は備考欄に明記すること。※作品返却(返送希望)は留守先の預け先(置場)など明記して下さい。